



学校評価だより

平成28年度 後期号
平成29年 3月 1日
京都市立正親小学校
校長 鴨脚 光茂

学校評価アンケートへのご協力
ありがとうございます。
後期のアンケート結果をもとに
来年度の教育活動に生かしていきます！！



保護者の皆様にご協力をいただいている「みんなで子育てアンケート」によるアンケート調査は、学校評価の大切な指標として皆様のご意見を本校教育に生かす取組を進めてまいりました。今年度も、7月の夏休み前と1月下旬の2回にわたってご協力をいただきました。後期のアンケート結果をもとに、継続発展すべきところ、改善すべきところを明らかにし、来年度の教育活動に生かしていきたいと思っております。



📝 アンケートへの回答の御協力、ありがとうございます。

今回（今年度後期）の保護者の皆様の回答率は、対家庭数比で105.9%，対児童数比で83.2%でした。1家庭につき確実にご回答がいただけていることを示していますが、目標は児童数分のご回答をいただくことだと考えています。お子たちが二人，三人おられるご家庭にはご面倒をおかけしますが、それぞれのお子たちの様子を通して、学校の取組を点検していただけると幸いです。来年度以降も「児童一人に1回答」にご協力をお願いいたします。

📝 後期は、実現度が前期に比べ低くなる傾向に……

前期のアンケート調査は、新しい年度がスタートして3ヶ月で実施をします。それに比べ、後期のアンケートは年度末に近く、アンケート回答者がより厳しい見方で点検する傾向にあります。実際、今年度後期の実現度の結果も、前期に比べ低くなっている設問がたくさんありました。

そこで、前期との比較はもちろんですが、昨年度の同時期との比較を通して、さらに詳しく分析をしようと思っております。

📝 昨年度同時期より実現度が伸びている項目を見ていきましょう。

※（よく…よくできている 大体…大体できている）

☆「自分からあいさつができる」	……………90.1%	＜よく…57.0%， 大体…33.1%
☆「友だちと仲よくしている」	……………95.3%	＜よく…69.8%， 大体…25.6%
☆「学校のきまりを守っている」	……………91.8%	＜よく…58.5%， 大体…33.3%
☆「授業中、考えたことが発表できる」	……………63.4%	＜よく…25.0%， 大体…38.4%
☆「家で宿題をきちんとしている」	……………94.8%	＜よく…72.1%， 大体…22.7%
☆「宿題以外の勉強をしている」	……………70.3%	＜よく…47.7%， 大体…22.7%



- ☆「毎日しっかりと朝ご飯を食べている」
……95.3% <よく…80.8%, 大体…14.5%>
- ☆「運動場で体を動かして遊んでいる」
……85.5% <よく…66.3%, 大体…19.2%>
- ☆「学校以外で進んで体を動かしている」
……80.3% <よく…51.2%, 大体…29.1%>
- ☆「先生はあなたの話を聞いてくれる」
……95.3% <よく…65.1%, 大体…30.2%>
- ☆「土曜学習や地域の行事に参加している」
……61.6% <よく…31.4%, 大体…30.2%>

本校のめざす子ども像の一つである「あいさつ」, 「規範意識」の面, 健康の面で昨年度より, 子どもたち自身ができていると実感していることは, うれしいことです。今後も定着するようにしていきたいと思ひます。

昨年度をやや下回ったものの, 「学校が楽しい」と答えた児童が90%を超えていることは, 指導者として素直に喜ぶたいと思ひます。

反面, 学習面に関しては「勉強の楽しみ」を感じられない児童が増えていることが分かります。一日の大半を占める学習の時間の中で, 一人一人の児童に届く学習指導の工夫を意識していきたいと思ひます。

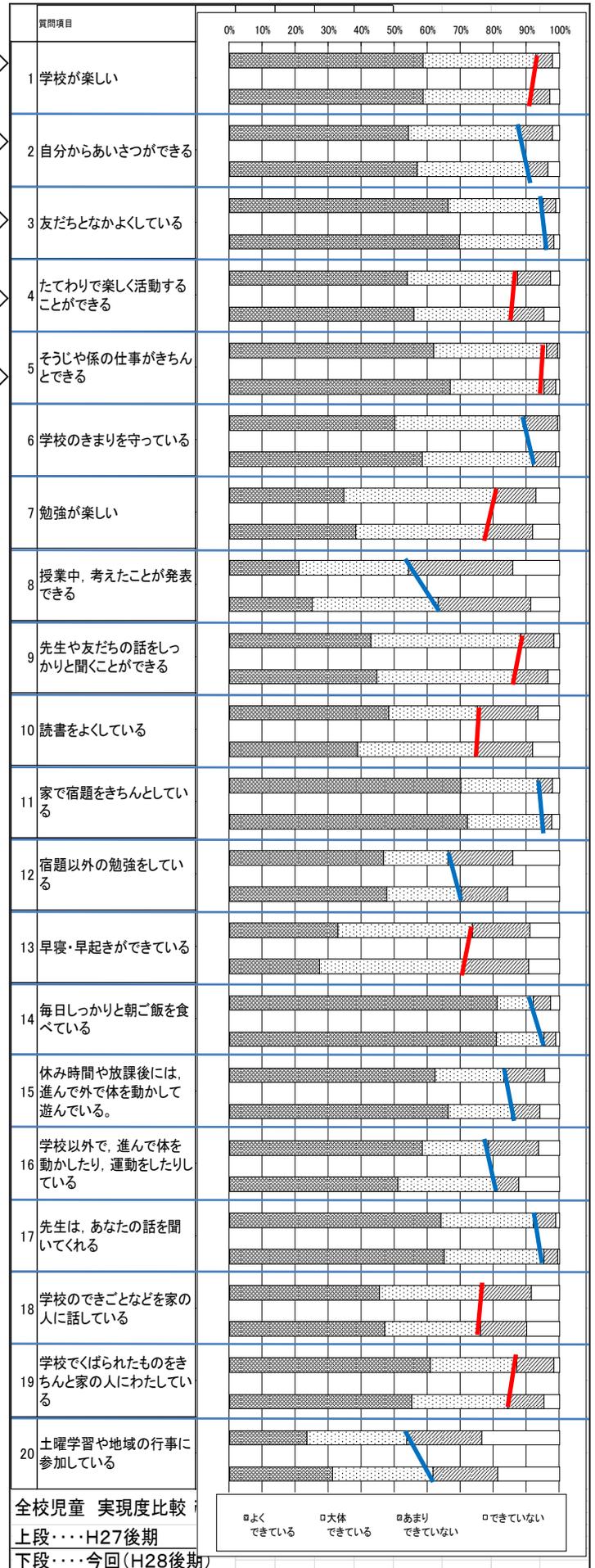
また, 家庭学習が少しずつ確実になっているのは, 各ご家庭で意識して声かけをしていただいている結果であろうと考えます。ありがとうございます。

三者(児童・保護者・教職員)で 実現度をくらべてみると…

児童にくらべ, 保護者・教職員の見方が厳しくなり, 実現度の割合が低く出るのは, これまでと同様の傾向です。三者とも上位にランクする項目としては, 「宿題」「友だちと仲よくしている」「休み時間の外遊び」「学校(教師)の対応」「学校が楽しい」が挙げられます。

三者ともに高い実現度が見られる項目から

「体を動かすこと通して友だちと仲よく, 楽しい学校生活を送ることができる子どもたち」
「与えられた課題を確実にこなすことができる子どもたち」「教師とのつながりがもてている



子どもたち」……

そんな子どもたちの姿が浮かび上がるでしょうか。

「遊びだけでなく、学習でも友だちと切磋琢磨する子どもたち」「自ら考えて必要な学習を進めることができる子どもたち」今後さらに、そんな姿を付け加えていけたらと考えています。

「知・徳・体」バランスのとれた子どもたちの育ちに効果的な方法を見つけたいと思います。

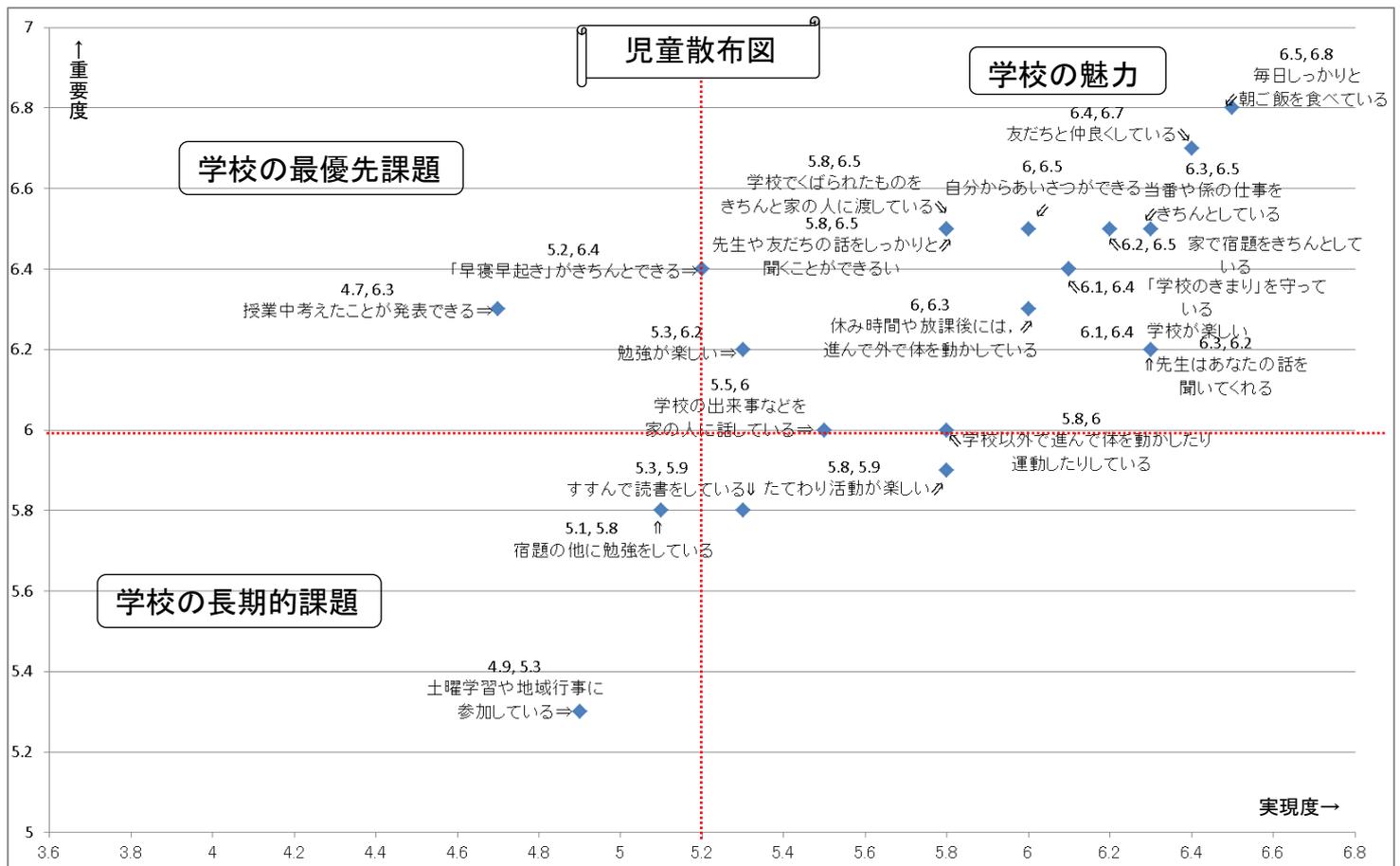
平成28年度後期 実現度 三者比較(「よく出来ている」の回答が多かった)								
児童 (%)		保護者 (%)		教職員 (%)				
体	毎日しっかりと朝ご飯を食べている	80.8	体	児童が、毎日しっかりと朝ご飯を食べること	57.9	徳	児童が、毎日楽しく学校へ通うこと	33.3
知	家で宿題をきちんとしている	72.1	徳	児童が、毎日楽しく学校へ通うこと	52.8	徳	児童が、学校で友だちと仲良く過ごすこと	25.0
徳	友だちとなかよくしている	69.8	知	児童が、家できちんと宿題をすること	45.8	知	児童が、進んで読書をする	27.3
徳	そうじや係の仕事がきちんとできる	66.9	体	児童が休み時間や放課後には、進んで外で体を動かして遊んでいる。	44.4	知	児童が、家できちんと宿題をすること	27.3
体	休み時間や放課後には、進んで外で体を動かして遊んでいる。	66.3	他	学校が、子どものことで相談したことについて、適切に対応すること	39.6	体	児童が休み時間や放課後には、進んで外で体を動かして遊んでいる。	25.0
他	先生は、あなたの話を聞いてくれる	65.1	徳	児童が、学校で友だちと仲良く過ごすこと	38.2	他	学校が、子どものことで相談したことについて、適切に対応すること	27.3
徳	学校が楽しい	58.7	他	教師が、児童の良さや可能性を伸ばすよう、取り組むこと	37.5	徳	児童が、たてわりで楽しく活動すること	16.7

散布図を通して見てみましょう。



アンケートでは、「実現度」(できているかどうか)だけではなく、同時に「重要度」(大切かどうか)も尋ねています。この結果を散布図に表すと次のような分析ができます。

- ◇「大切な上に、実現度も高い」……学校の魅力となりうる項目。
- ◇「大切なのに、実現度が低い」……学校の最優先課題となりうる項目。
- ◇「大切だと考えられていないうえに、実現度も低い」……学校の長期的課題となりうる項目。



児童と保護者の散布図の中で、同じような傾向になっているところは検討が必要です。学校の最優先課題とされるニーズ度の高い項目（大切だと思われるわりに、実現度が低い）については、特にしっかりと考えていかねばなりません。



